

第2回長瀬町地域公共交通会議会議録

開催日時：令和2年9月4日（金） 午前10時30分～11時15分

場 所：長瀬町役場3階大会議室

出席者：別紙「長瀬町地域公共交通会議出席者」のとおり

会 長：長瀬町副町長

（議長） 齊藤 英夫

※長瀬町地域公共交通会議設置要綱第7条により、会長が議長を務める。

事務局：長瀬町企画財政課

課長 大栗 徹、主幹 常木真人、主任 緑川圭介

1 開会

事務局より挨拶

2 議題（1）公共交通実証実験の結果報告について

事務局より、資料1、2に沿って説明

⇒質問・異議なしのため、ものづくり大学 田尻教授から全体を通して多角的な面から補足等をいただいた。

⇒（ものづくり大学大学院 田尻様）

○2017年度から現在に至るまで各種調査に並びに実証実験に多大な協力皆様方ありがとうございました。また、町民の皆様方にも感謝申し上げます。今回の公共交通の検討にあたっては、とにかく町民の皆様に対して丁寧に進めるということを心がけてまいりました。実際、結果の方なんですけれども、公共交通の利用意向というのは、皆様も承知のようにアンケート等の事前調査でバイアスが非常にかかります。つまり、調査の段階では利用したいと言うんですけど、実際に運用するとなるとそれほど伸びない。という傾向はよくある話でございますので、私どもとしましてはそういうことなるべく起きないようにと思ひまして、町民の皆様方の日頃のライフスタイルの中で移動という行動そのものがどこまで公共交通に寄与するかと、つまり真水の部分の抽出に努めて実証実験に臨ませてもらいました。

その結果なんですけども、今ご説明にありましてとおり想定以上に利用者が高齢者に偏っていたということと、全体としての利用者も多くはない、ということが分かったということが結果でございます。ただ、これは現在の状況でございますので、中長期的に見て公共性の高い移動手段を確保していくということは、これから重要になってくるのかなとは感じております。

(議長)

田尻教授からもありましたように、アンケートの結果ほど利用者がいない、という結果が現れているのかなと思っております。

⇒質問・異議なし

議題（２）今後のスケジュールについて

事務局より、資料３に沿って説明

⇒質問・異議なし

(議長)

今後については事務局内と、ものづくり大学を含めて地域公共交通網形成計画の準備を進めていって、案ができましたら皆様にお諮りをしたいということで進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

⇒異議なし

議題（３）その他

(議長)

全体を通して何かありますか。

⇒（長瀬町商工会 小埜様）

○田尻先生がおっしゃっていましたが、公共交通に関しまして、やはり高齢者の方々がお使いになるのが圧倒的に多いのではないかなと考えております。長瀬町の商工会では地域お助け隊という事業をやっております。一人暮らしの高齢者の方々を対象にした事業なんですけども、家で大型のゴミが出たときの片付けの手伝いだとか、庭の手入れだとか、それと一緒に買物の介助だとか、病院の送迎、そういったものをボランティアを募りましてやっております。高齢者の方で一人暮らしで動きの悪い方々っていうのは、家まで行ってあげないと動くことができません。そういった方々に大変好評いただいておりますし、また、高齢者の福祉という意味で映画劇場などを月一回商工会の２階の方で行っております。そういったボランティアのお手当てを含め、よろしかったら今後、公共交通機関の検討にも是非入れていただければなと思いましたがお話をさせていただきました。

→（事務局）

公共交通に入れることに関しましては、先ほど法律の改正のところでも触

れさせていただいたんですけれども、自家用有償旅客運送が近いものになるかなと思っております。それを含めて地域の多様な運送資源を計画に位置付けることは可能になると思っておりますので、そのお助け隊も含めて特に高齢者の方に有効な施策を検討させていただければと考えております。

⇒ (秩父丸通タクシー株式会社 金子様)

○今回うちの会社が実証実験をさせていただいたんですけど、秩父地域で小鹿野町と今度横瀬も始まったんですけど、デマンド事業が始まりまして、秩父市内でもマスタープランの計画を立ててます。秩父独自の谷があるっていうことがネックなので、すごく大変な地域なんですね。普通の平地の町をぐるぐる回るのならいいんですけど、谷があるってことがすごく大変な思いで、結局谷に住んでの方が足がないってことがネックになってますので、色んなパターンがあって、色んなあれがありますので、今度計画していくにあたって長瀬町が何が一番ベストな方法かなっていうのはよく検討していただいて、あまり経費が掛からないで皆さん方に乗っていただくっていう方法が一番いいと思うんです。バスなんかも空気を運ぶような形になっちゃって、その対応をどういう風にしたらいいかなってとか言って、いざやってみると空気を運んでいることが多かったです。この交通事業っていうのはすごく結果的には今度どうしたらいいかなっていうことはすごく課題が沢山ありますので今後色んな地域の色んな情報を得て臨んでいただければ、長瀬町に近い元気な方向でできると思うんで大変でしょうけど色々調べてやっていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

→ (事務局)

実証実験委託先としてご尽力いただきましてありがとうございます。また、今貴重なご意見をいただきまして、この場以外でも色々なこういう情報ありますよとかっていうのをいただいているのが現状でございまして、大変ありがたく思っております。ご意見いただいたとおり、色々な地形の所に住んでいるとか、年代の別だとかそれぞれの特徴といいますか、それぞれが持っている課題に対して何が有効かっていうのはですね、本当に色々な交通のパターンがあると思っておりますので、なるべく詳細に比較検討をして計画の案の作成していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

(議長)

以上で、全ての議題が終了させていただきました。

本会議の目的は、要綱第2条にありますように、公共交通の導入にあたって必要事項の検討及び地域公共交通網形成計画の策定となっております。

次回以降は地域公共交通網形成計画の策定につきまして協議を行っていくことになろうかと思っております。ご多忙な折大変恐縮ですが、引き続き皆さまのご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

皆様のご協力によりまして、全ての議事が終了いたしました。大変ありがと

うございます。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

4 閉会

(事務局) → (一般社団法人埼玉県バス協会 鶴岡様)

○バス協会が配付したパンフレットについて説明。

(事務局)

次回の会議ですが、先ほど説明のあったとおり2月頃を予定しております。内容は、地域公共交通網形成計画の作成についてになってくると思いますが、会議の詳細については、またあらためて事務局よりご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、第2回長瀬町地域公共交通会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

(閉 会)